

No.

95

平成30年2月1日発行

12月定例会

発行 秋田県鹿角市議会
編集 議会広報委員会
〒018-5292 鹿角市花輪字荒田4番地1
TEL (0186) 30-0280
e-mail gikai@city.kazuno.lg.jp
URL <http://www.city.kazuno.akita.jp/>



かづの市議会だより

花輪市民センター



十和田市民センター



尾去沢市民センター



八幡平市民センター



11月6日、7日に議会報告会を開催しました

12月定例会の概要	2
一般質問に7名が登壇	3
委員会審査ズームアップ	7
決算特別委員会審査概要	8

議会報告会～市民と語る会～開催概要	10
派遣調査報告、議会連絡協議会報告	13
議案審議結果一覧	14

第7回定例会

平成28年度一般会計・各特別会計決算を認定
平成29年度一般会計補正予算などを原案可決

平成29年第7回定例会

が11月30日（木）から12月20日（水）までの21日間の日程で行われ、報告1件、議案29件が上程され、いずれも原案のとおり承認・可決し、議員提出議案6件についても、原案のとおり可決しました。

また、9月定例会の最終日に設置された決算特別委員会に付託していた、平成28年度鹿角市一般会計及び各特別会計の決算認定案件8件については、委員会審査報告の後に採決し、いずれも認定しました。

第7回定例会に提案されました議案等の審議結果につきましては、14ページに掲載しております。

決算特別委員会の審査概要につきましては、8ページに掲載しております。

第7回定例会に提案されました議案等の審議結果につきましては、14ページに掲載しております。

主な議案の審議内容

訴訟上の和解について

質問

和解条項にある中学校のスキー教室の安全対策について、現在の状況はどのようなものか。

質問

花輪スキー場において、事故後に図つてきた安全対策については、事故防止のためのネットの設置や各小中学校で行っているスキー授業については、第1リフトに限定して行うこと、また、スキー授業中にはヘルメットの使用を義務づけております。

質問

また、本事業を鑑み、各学校で作成している安全対策マニュアルについて、再点検したほか、その他の行事についても再点検し、さらなる安全対策の充実を図ってきたところであります。

指定管理者の指定について（鹿角市交流プラザ）

質問

これまでの指定管理者と交代するところが提案されているが、本施設には団体の事務局があるようだ。その団体との協議は進んでいるのか。また、現在の従業員は継続されるものか。

質問

現在の指定管理者とその団体とのかかりについては、市では把握しておりません。今後、新たに指定管理を受けた企業と年度協定、基本協定等の内容を詰めてまいります。その点も含めて、まだお話しするところではない状況にあります。

一般会計補正予算（第10号）

質問

商工総務費の市出資法人清算支援補助金に関連して、これまで市は「株式会社花の輪」の監査役として携わってきた経緯から非常に責任が大きいと思うが、その責任等の考え方について伺う。

質問

花の輪については破産という結果になりましたが、市では出資者及び監査役として、総会あるいは監査において指導や助言等を行ってきたおり、これまでしっかりと責任を果たしてきたものと認識しております。今後、中心市街地の活性化という観点から早々にこの処理を進めていくことが優先すべき課題であると認識しておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

議事へ提出された
請願・陳情審議結果

平成29年第7回定例会では、請願1件、陳情6件を審議しました。結果は次のとおりです。

請願

《趣旨採択》

◆準市民制度の創設を求める請願

陳情

《採択》

◆核兵器禁止条約に署名

批准を求める意見書提出を求める陳情

◆介護保険制度の改善、介護報酬の引き上げ、介護従事者の処遇改善と確保を国に求める意見書提出を求める陳情

◆国民健康保険都道府県単位化に係る秋田県への意見書提出を求める陳情

◆米の生産費を償う価格下支え制度を求める陳情

◆種子法廃止に伴う万全の対策を求める陳情

《継続審査》

◆消費税を10%に増税することを中止することを国に求める意見書提出を求める陳情

議会から

関係機関への意見書

12月20日の本会議において、議員より提出された意見書6件について、原案可決し、関係機関へ提出しております。

◆核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書

- ◆介護保険制度の改善、介護報酬の引き上げ、介護従事者の処遇改善と確保を求める意見書
- ◆国民健康保険都道府県単位化に係る意見書
- ◆米の生産費を償う価格下支え制度を求める意見書
- ◆種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書
- ◆道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

傍聴席から一言

本日、初めて傍聴させていただきました。
質問は2名のみで、深く求めることもなく、議会が低調な感じがします。議員各位の活発な討議を期待します。
議場の正面に市旗の掲示はどうですか。条例上できないものでしょうか。
(花輪・73歳男性)

質問者の時間について、せっかく獲得した時間をなぜフルに使用しないのか？

質問者は市民の代弁者として市政の取り組み等をチェック、監視するのが主な仕事と考えます。市政にはいろいろな課題が山積しています。質問もたくさんあります。質問時間を超過するほど集中して対応できないものか。
(花輪・72歳男性)

議場見学しませんか
鹿角市議会では、市民に開かれた議会を目指し、議会をより身近なものと感じていただくため、議場の見学を受付しております。
本会議場や委員会室などの議会施設を見学してみたいいかがですか。



下ノ湯町内会の方々が傍聴、議場見学にお越しいただきました

議会の映像をぜひご覧ください

議会だよりには、会議の一部を掲載しております。本会議の様子は、インターネットからライブ中継や録画中継を視聴することができます。

また、各庁舎市民ロビーのテレビでも本会議を視聴することができます。

一般質問

金澤大輔議員（鹿真会・公明）

金澤 大輔 議員 (鹿真会・公明)



質問した項目

- 葛飾区との連携・協力の生かし方について
- 遺跡を活用したシティープロモーションについて
- 外国人観光客の誘客について

葛飾区との連携・協力の生かし方について

問 よつぎ小と冬の交流もできないか伺う。

答 冬の交流についてはよつぎ小学校と同校PTAとで具体的な計画の検討や調整を要するともに、本市においては、受け入れ世帯の確保や安全な体験メニューの提供など、経費も含めて双方に課題が多く、実施は難しいものと考えております。

遺跡を活用したシティープロモーションについて

問 娯楽性を取り入れたアプローチに取り組む考えはあるか伺う。

答 遺跡のガイダンス施設としての性格からおみやげ販売や娯楽的な機能は備えていませんが、先月開催した縄文シンポジウムの講演の中では、全国の類似施設の遺跡の魅力を伝える様々な取り組みが紹介され、新しい活用方法の必要性についても言及されております。

今後は、こうした意見も踏まえながら、企業やより多くの市民と連携した取り組みや新しい視点でのアプローチ

ローチの方法について調査研究しながら検討してまいりたいと考えております。

問 外国人観光客の誘客について
花輪ばやし開催時に外国人向けの観光案内所、もしくはブースを設置する考えはないか伺う。

答 本市の外国人観光客の受け入れ対応としては、これまで市内観光施設等へのピクトグラム標記や、案内看板の外国語表記に加え、翻訳機の導入やWi-Fi環境の整備、外国語パンフレットの作成などを進めてまいりました。

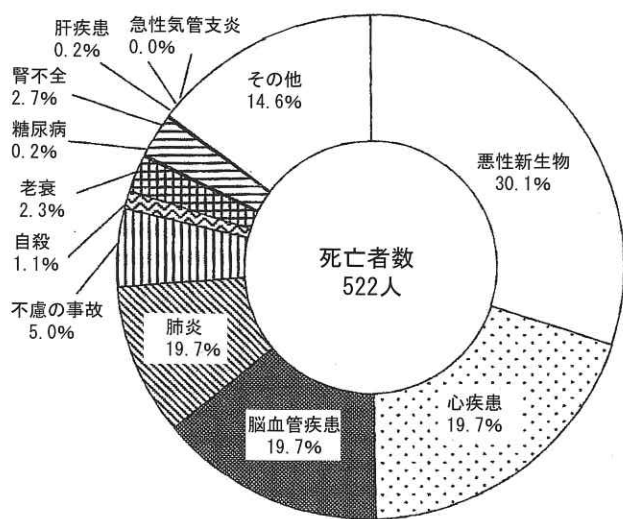
市内の観光施設では、外国語パンフレットなどを活用して、時には身振り手振りを交えながら、鹿角らしいおもてなしを行っております。花輪ばやし当日についても、鹿角花輪駅前と中央通りの2カ所に観光案内所を設置し、外国人対応も含めて案内を行っており、現状では、積極的に外国人観光客専用の案内所を新たに設置することまでは考えておりませんが、引き続き各関係機関と連携しながら、外国人観光客の誘客を進めてまいります。

健康寿命日本一に対する本市の取り組みについて

問 脳卒中対策を最優先課題とした理由と本市の現状について伺う。

答 本市の脳卒中による死亡者数は、がん、心疾患に次ぐ第3位ですが、平成27年度の死亡率を全国平均と比較すると、がんが1・7倍、心疾患が2・1倍であるのに対し、脳卒中は2・6倍と高くなっております。県との意見交換の場でも、大きな健康課題であるとの指摘を受けております。

また、脳卒中は、要介護の原因疾患となる割合が高く、その予防にあたっては、最大の危険因子である高血圧症の治療、生活習慣の見直し、健診受診による健康状態の把握が重要とされており、これらの取り組みは、がんや心疾患を含む生活習慣病全般の予防にもつながりますので、本市においては、これに最優先で取り組むことで、健康寿命の延伸に大きく寄与するものと考えております。



平成27年主要死因別死亡者割合
（鹿角市統計書より）

質問した項目

■健康寿命日本一に対する本市の取り組みについて ■観光振興について ■中心市街地活性化について ■空き家対策について ■文化振興について ■行政改革について



館花 一仁 議員
（清風会）

倉岡 誠 議員
（誠心会）



質問した項目

■母子生活支援施設について ■国民健康保険制度について ■会計検査院の指摘について ■湯の駅おおゆについて

国民健康保険制度について

問 広域統合が進められ来年度から県へ移管となるが、新たな財政運営の仕組みを伺う。

答 平成30年度からは、国民健康保険の将来にわたる安定的な制度運営が可能となるよう、市町村に加え、都道府県も保険者となつて財政運営の責任主体を担うこととなり、保険給付に必要な費用は「国民健康保険給付費等交付金」として県から交付を受け、一方で、市町村はこの財源となる「国民健康保険事業費納付金」を県に納付することになります。

この納付金については、県が保険給付費の総額の見込みを立て、市町村ごとの所得水準や医療費水準を考慮して各市町村に示されてくるものですが、平成30年度の額については今年1月に示されることとなっております。

納付金の額は、本市の国保税率の決定にも関わってくることから、現在、試算作業を行っているところであります。

湯の駅おおゆについて

問 指定管理者が指定を辞退した理由について伺う。

答 9月定例会で議決をいただき指定した後、基本協定や年度協定の締結に向けた協議を行った際に、組織体制の確立について確認したところ、その時点ではまだ決まっておらず、その後も体制整備がなされていない状況が続き、好転の兆しも見られないことから、再度、同協会と今後の運営について協議を行いました。その後、同協会の役員会で、実質的な組織体制の確立や運営に必要な人材の確保のほか、当初予定していた指定管理に必要な資金確保などにおいても課題が生じ、思うように準備を進められなかったとの理由から、指定管理者を辞退することが決定され、市に申し出がなされたものであります。

今回の指定管理者の事態は大変遺憾であります。状況の改善は困難であるとの判断から、これを受理し、指定の取り消しを決定したところであります。

学校統廃合について

問

花輪北小学校と平元小学校の統合については、統合後も急激な児童数の減少が予想されるが、どのように考えているのか伺う。

答

国が定める標準的な学校規模を目指した場合には、本市においては地理的条件から遠距離通学者が多くなり、児童生徒の心身への負担が大きくなることが想定されます。

そのため本市の基本的な考え方として、学校再編を進めるにあたっては、各地区に小学校1校を配置しながら、複式学級の解消や可能な限り1学年1学級以上の確保を目指すこととしており、2021年4月に統合を予定している両校につきましても、相当の期間は1学年1学級から2学級を確保できるものと見込んでおります。

問

高校の統合について今後どのように取り組んでいく考えか伺う。

答

今後、県主導のもと3校の学校関係者・学識経験者・教育行政の代表など20人の委員で構成さ

れる「鹿角小坂地区高等学校統合に関する協議会（仮称）」が設置され、その中で統合等再編整備、学科構成、設置場所などについて協議されることとなっております。

農業政策について

問

法人、集落営農、主要認定農業者が様々な課題を抱えている。さらにきめ細かな対応、指導に取り組めないか伺う。

答

これまで、経営指導、認定農業者の農業経営改善計画の目標達成に向けたフォローアップをはじめ、「鹿角地域集落営農組織等推進協議会」では、複合経営や冬季農業に関する研修などを実施しております。

また、今年度は、法人化に至っていない集落営農組織を個別訪問し、高齢化・担い手不足や法人化に向けた現状確認と課題把握を行うっており、引き続き「農業経営サポートセンター」を軸に、販売力を兼ね備えた経営体の育成を目指して、それぞれの法人等が抱える課題解決に向け、継続した支援を行ってまいります。



田口 裕 議員
(無会派)

質問した項目

- 学校統廃合について
- 農業政策について



黒澤 一夫 議員
(鹿真会・公明)

質問した項目

- 企業誘致と鹿角市産業団地の活用及び雇用の場の確保対策について
- 熊による人身被害、鳥獣の糞便被害の防止への取り組みについて
- 市内小学校・中学校の統廃合計画について
- 農業の振興への対策について
- 指定管理者制度の運用と現況確認の実態について
- 冬期間における道路管理と除雪計画について
- 安心して通行できる道路の確保対策について

企業誘致と鹿角市産業団地の活用及び雇用の場の確保対策について

問

企業誘致、観光客誘致のための訪問活動を展開しているが、最近の成果について伺う。

答

企業誘致につきましては、今年度3社の進出が決定しております。会社訪問にあたっては、支援内容の説明に加え、観光や産業をPRしながら、企業の潜在的なニーズを調査し、業界の景気動向などを踏まえて素早く施策に反映させてまいりましたが、今後もしこうした姿勢で誘致の実現に取り組んでまいります。

市内小学校・中学校の統廃合計画について

問

市内花輪地区、十和田地区の小学校をそれぞれ統合することだが、市内全体的な見通しや検討を行い、市民への周知を図るべきと考える。このことについて伺う。

答

児童生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進み、学校の活力低下や学び合いの機会の減少など、教育現場において生じ

ているさまざまな課題を克服するため、平成28年2月に「鹿角市立学校等再編計画」を策定しております。本計画では、2020年度までに小学校は花輪・柴平・十和田・大湯・尾去沢・八幡平の各地区に1校を配置することとしております。

本年度、統合校の学区を検討するため「花輪北小学校・平元小学校統合校学区検討委員会」を設置し、提言書を受領したところであります。

指定管理者制度の運用と現況確認の実態について

問

「湯の駅おおゆ」指定管理者が辞退したが、これまでの経過及び今後の対応について伺う。

答

大湯地区からの要望を受け事業化したもので、今年度、大湯温泉観光協会を指定管理者として指定しましたが、組織体制の整備がなされないことから辞退になったものであります。

来年4月のオープンを目指して、新たな指定管理者の再募集を進めたところであります。

出会い支援事業について

問 婚活支援サイト「ゼクシィ」とタイアップした「癒しと出会いの旅」が9月に開催されたが、結果について伺う。

答 二日間で開催し、市内の男性15人、首都圏の女性14人の参加者が集まり、そば打ち体験や交流会などで交流を深めた結果、11組のカップルが誕生しております。

問 本市独自の登録制度は検討できないか伺う。

答 あきた結婚支援センターは、平成23年に設立以来、延べ4900人を超える方が入会登録し、また成婚報告者数も千人を超えるなど、成果を残しております。

出張センターの開設や、パートナーを見つけやすくする検索機能の強化など、継続的に利便性向上と支援策の拡充を図っており、センターが有する機能や支援制度を有効に活かすほうが効果的と考えます。

新規ブランド産品育成事業について

問 新たなブランド化作物選定の内容について

て伺う。

答 収益性や栽培技術確立の実現性、将来性などで判断し、今年度は啓翁桜や新テッポウユリ、シヤインマスカットなどのブドウに支援しております。

地域医療構想等について

問 かづの厚生病院の里帰り出産休止及び産婦人科機能維持のために、現在の動きについて伺う。

答 今回の集約問題の根本的な原因は近い将来、かづの厚生病院に常勤医として派遣できる人材がいなくなることであります。分娩取扱機能を存続させるため、独自に産婦人科医を見つけるために厚生連とともに、地元出身の医師などへ働きかけましたが、すぐに見つけることは困難であり、現状では、チーム医療体制の方針を受け入れざるを得ない状況にあります。

そのため当面は、大館市立総合病院の受け入れ態勢の整備や、かづの厚生病院での外来診療や妊婦健診を継続するための医師派遣など必要な対応について、引き続き、県及び大学に強く要望してまいります。

質問した項目

■出会い支援事業について ■鹿角マルシェの推進について ■新規ブランド産品育成事業について ■広域観光の推進について ■企業誘致促進事業について ■空き家対策について ■地域医療構想等について



成田 哲男 議員
(清風会)

誘致企業について

問 平成29年度に誘致した企業以外にも進出の可能性はある企業はあるのか伺う。

答 マイナージエッジ社の進出発表後、国内外からマイニング事業に取り組みたいといった問い合わせが多く寄せられており、本市の充実した助成制度や産業団地に対して、数社から興味を示していただいている状況もございます。

財政問題について

問 平成30年度における国の地方交付税4000億円の減額は本市にどれくらいの影響があるのか。

答 国では地方の一般財源の総額について、平成29年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとしており、地方交付税の大幅な削減はないものと見込まれますので、来年度計画事業の執行に影響は生じないものと考えております。

未利用施設について

問 現在、使用していない市有建物の件数と今後の利用見込みを伺う。

答 普通財産の建物33施設のうち、現在、未利用であるものは旧保育園2カ所など6施設となっており、このうち1カ所については、市内で起業を目指している方に貸し付けする予定としております。

放課後児童クラブについて

問 今後6年生までの受け入れに拡充する場合の課題と対応を伺う。

答 社会、経済、雇用の方の変化を考慮すると、高学年の受け入れは必要と考えており、現在、処遇改善などによる支援員の確保のほか、公共施設や民間施設などの有効活用を検討しているところであります。

鳥獣被害防止対策について

問 「鳥獣被害対策実施隊」は、どのような活動を行うのか伺う。

答 実施隊は、鳥獣被害防止計画の中に位置付けながら、猟友会員を中心とした実働部隊として、来年度の設置に向けた協議を進めており、猟友会の負担の緩和と迅速な駆除体制の構築を目指すものであります。

中山 一男 議員
(清風会)



質問した項目

■誘致企業について ■地元企業情報の発信について ■財政問題について ■未利用施設について ■農業対策について ■放課後児童クラブについて ■高齢者センターのトレーニング機器について ■障がい者総合サポートセンター機能について ■花輪大堰の改修工事について ■鳥獣被害防止対策について ■猟友会会員の確保について

総務財政

るのかただしております。

◇平成29年度一般会計補正予算(第10号)中、「返還金」について、返還金12項目のうちどれが一部交付対象外となったものかただしております。

これに対し、「地域の元気臨時交付金返還金」について、工事の前払金を交付対象として実績報告していたが、出来高のみが対象となることと、一部が対象外となったもの及び「地方創生推進交付金返還金」について、市の委託事業として行ったものに消費税分を含めて実績報告していたことから、今回消費税分を返還することとなった2項目であるとの答弁がなされております。

また、本交付金の実績報告を県から国に提出し、適正に受理していただいた後に、会計検査院の検査において交付金の対象外との見解が示されたものであり、事後的な対応となったものである。

さらに委員からは、「地域の元気臨時交付金返還金」の金額が134万円と大きいことから、市に損害を与えたと捉えることもできるが、どう考えています。

教育民生

◇「指定管理者の指定について(鹿角市記念スポーツセンター、城山野球場、毛馬内野球場)」について、城山野球場において、冬期間は野球場の周りの除雪などもされておらず管理がされていないと感じるが、冬期間における管理棟内の機材や電気・水道等の管理はどのようにされているのかただしてあります。

これに対し、城山野球場については冬期間の利用がないことから貴重品については球場とは別の場所へ移して保管しており、また電気や水道についても止めているものであるが冬期間においても異状がないか、適宜巡視する体制とするよう、指定管理者と協議してまいりたいとの答弁がなされております。

また、委員からは、野球場の管理に関連して、スコアボードのBSO表示について、小

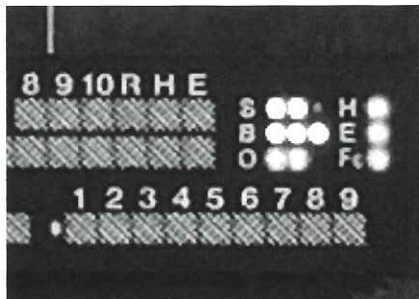
産業建設

位置づけ、引き続き維持、増産することを第一に考えていきたいとの答弁がなされております。

◇「指定管理者の指定について(鹿角市肉用牛担い手育成施設)」について、今後の畜産農家の高齢化を考えると、農家から委託を受けて本施設で飼育するといった、違う形態の施設利用も考えていかなければならないと思うが、どう考えているのか、ただしてあります。

これに対し、これまでの5年間に於いて畜産農家と頭数は減少している状況にある中でその情勢や背景をみながら本施設の利用等については考えなければならぬと思っております。

しかし、現段階においては、本施設の設置目的である農家の経営安定と肉用牛生産の一層の振興を図ることであることや、本施設利用者が平成19年から頭数を約2倍に増やしているため、新規就農の方だけでなく現在の利用農家も担い手として



決算特別委員会 審査概要

決算特別委員会（児玉悦朗委員長）は、10月11日及び12日の2日間において、認定案件8件について、審査した結果、いずれも認定すべきものと決定し、12月定例会初日に審査報告いたしました。以下、審査の概要をお知らせいたします。

◇一般会計

《歳入》

1款市税では、関連して、市税等の自主財源が増えた要因についてただしております。

これに対し、ふるさと納税による寄附金や繰越金の増加、そして基金繰入金によるものである。市税については平成27年度と比較して約700万円の増加となっており、景気回復の足取りが見えつつある状況であるとの答弁がなされております。

また、個人市民税については、給与等のアップにより収納額が増えたと

いう分析であったが、法人税については減額補正となっている。市内企業の状況等についてどのよう分析しているものかただしております。

これに対し、法人税については、減額となっており、最近の傾向として設備投資や人件費への振り替えが行われるなど、法人の所得としては計上されていないものの、今後は上向き傾向になると分析しているとの答弁がなされております。



《歳出》

2款総務費では、「徴収費」のコンビニ収納代行委託料について、その

内容と、収納率が向上するなどの効果があつたものかただしております。

これに対し、コンビニ収納の手数料については1件あたり税込込み61円となっており、現在、納付書で納付されている方のうち約5人に1人がコンビニで納付しているところであり、効果としては督促状の発送件数が非常に少なくなってきたこと、ことから、納付機会の拡大や、期限内納付の推進に非常に効果があつたものと捉えているとの答弁がなされております。

4款衛生費では、「保健衛生総務費」の「産科医等確保支援事業費補助金」について、147件の助成を行い、休日夜間分娩体制の確保が図られたとのことだが、その事業の詳細についてただしております。

これに対し、産科医等確保支援事業については、産科医等に対して分娩手当を支給することで処遇改善を図り、急激に減少している分娩施設及

び産科医等の確保を図ることを目的として実施しているものである。本市では、かつの厚生病院の産科医に対して、1件あたり1万円の助成を行っており、このうち、3分の2が県からの補助金であるとの答弁がなされております。

7款商工費では、「商工振興費」の「起業・創業事業」及び「商店街リノベーション支援事業」について、制度の併用を認めているものか。また、過去には補助金を活用して起業した店舗等において、家賃補助がなくならないように精査等を行っているものかただしております。

これに対し、商店街リノベーション支援事業助成金については、商店街の空き店舗を活用した創業であることから、起業・創業事業の制度とあわせて使用することを推奨している。

また、起業時には商工会による経営指導を受けた後に市の補助の受け付けとなること、さらに起業後には、セミナーや研修会などの案内のため、各店舗を回って歩くなどしているほか、商工会からも経営指導や税務指導などのフォローアップを行っているとの答弁がなされております。

また、「観光振興費」の「十和田八幡平学び旅創生事業」について、東日本大震災の年に北海道からの修学旅行がほぼ全部キャンセルとなったが、その後の状況についてただしております。

これに対し、平成26年度が3042人、平成27年度が3767人、と増加傾向ではあつたが、平成28年度は3283人と減少している。昨年度は、北海道新幹線の影響や、飛行機の利用が可能になったことから、今まで東北に来ていた方がより遠方に行っているものと捉えている。

本事業の今年度の申請ベースでは既に昨年度を

上回る3840人となっており、件数が伸びてきていることから、引き続き北海道に売り込んでまいりたい、との答弁がなされております。

8 款土木費では、「道路橋りょう維持費」の

「橋りょう長寿命化対策事業」に関連して、最近の全国的な異常気象による川の増水により、橋が倒壊するケースが見受けられるが、これを受けて、点検内容は変わってきているものかただしております。

これに対し、橋りょうの点検にあたっては、国の点検要領に基づいて行っている。水量増加等にかかわる点検の項目は含まれていないとの答弁がなされております。

10 款教育費では、「体育振興費」の「はばたけ

アスリート鹿角コーチング事業」について、楽天イーグルスの元プロ野球選手を迎えて野球教室を開催したとのことだが、その実績についてただし

ております。

これに対し、本教室は小学校5年生を対象としており、昨年度は57人、本年度は35人の参加となつておるとの答弁がなされております。

さらに委員から、派遣されるコーチについて、現役選手や、もつと有名な元選手などを呼ぶことはできないかただしております。

これに対し、球団のジュニアコーチの中から派遣されることになっており、こちらから指定することはできないが、ことはオールスターに出場した実績のある選手が来るなど、比較的有名な選手にも来ていただいているとの答弁がなされております。

歳出全款では、国から

平成28年3月までに地方公会計制度の体制を組んでやらなければならないと来ていると思うが、スムーズに移行できる体制となつておるとの答弁がなされております。これに対し、国からは

固定資産台帳の整備を平成28年度までに完了するように要請されており、本市では既に整備を完了している。今後の体制では、データ更新が重要となるため、庁内の操作説明会の開催や、運用マニュアルの整備を行い、体制を整えている。また、地方公会計財務書類の作成については、平成28年度データへの更新後に実施する予定としておるとの答弁がなされております。

一般会計全般の意見として、委員からは、「第6次総合計画後期基本計画」の初年度、また「鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の2年目となる平成28年度の決算について、審査したが、後期基本計画、総合戦略のいずれも順調に進んでおり、市の取り組みは評価できるものと感じている。

新年度の予算編成においても、各事業の充実を図りながら、必要なもの

には積極的に予算を計上し、市民の福祉向上に向け、市長はじめ職員一丸となつて、さらに前進していただきたいとの意見が述べられております。

◇特別会計

後期高齢者医療特別会計について、後期高齢者の被保険者数は年々増加傾向にあると思うが、被保険者数の人数の傾向についてどのような傾向にあるものかただしております。

これに対し、後期高齢者の加入率は平成27年度が19・86%、平成28年度が20・27%、平成29年度が20・89%と緩やかに増加している。

現在、後期高齢者に移行している世代は、ちょうど太平洋戦争の時期にあたることから、緩やかな増加となっているが、2020年度以降にはまた急激に増加する見込みとなつておるとの答弁がなされております。

鹿角市介護保険事業特別会計について、介護従

事者に対する処遇が非常に厳しい状況となっており、現状では離職する介護従事者が結構いると伺っているが、市でも指導をきちんと行い、処遇改善を行いながら従事者を増やしていくようにしながら、その対策についてた

これに対し、介護従事者の対策は難しい問題であり、現在どこの事業所もぎりぎりの人員で回している状況にある。国が平成28年度の補正で処遇改善加算の対応を行ったことから、市でもそれに合わせた形で対応をしているところであり、各事業所でも国の制度に合わせた形での処遇改善を行っている。

国の制度以外にも、市単独で「介護のしごとフェア」を開催するなど、地域の介護サービス事業所と一緒にした取り組みを行っており、今後も鋭意取り組んでまいりたいとの答弁がなされております。

議会報告会

「市民と語る会」

鹿角市議会基本条例に基づく議会報告会を平成29年11月6日及び7日の2日間、2班編制で市内4会場で開催し、あわせて60名の方よりご来場いただきました。

改選後初めての議会報告会については、議会広報委員会が企画・立案をし、会場準備・受付・進行等についても全て議員が行いました。

当日は、最初に、平成29年度の定例会・臨時会の本会議の開催状況や、常任委員会・決算特別委員会の審査状況、常任委員会の派遣調査状況などを報告し、その後「市民と語る会」として、「鹿角の医療について」のテーマに基づき意見交換を行ったほか、ご参加いただいた市民の皆様と、市政や議会に関しての活発な意見交換を行うことができました。

皆様から出されました貴重なご意見やご要望は、議会として検討でき

るものは検討し、また、生活環境など当局に知らせるべきものは速やかに伝えてまいります。
なお、当日、皆様からいただきましたご意見・ご要望、アンケートの主な内容は次のとおりです。



花輪市民センター会場

■会場で出された

主な意見・要望等

《議会に関すること》

◇ 政務活動費は後支給が正しいのではないか。

◇ 行政視察については、目的をしっかりとつて行い、成果等をもつと市民に説明すべきで、実際に政策に生かせるものをしっかりと具体的に視察してほしい。

◇ もっと情報公開をしてほしい。無関心な市民も悪い。

◇ 政務活動費の廃止が検討課題に挙げたようだが、理由は何か。

◇ 政務活動費はなぜ会派支給なのか。

◇ 会派とは何なのか。必要なのか。市のホームページでもいいので、会派の理念や活動などを示してほしい。

◇ 市民と語る会をもつと市民に興味を持ってももらえるよう、時間や曜日ややり方など、もっと何か考えられないか。

◇ 一般質問は何のためにやっているのか。

◇ 質問時間が会派・無会派でちがうのはおかしい。質問時間を残している人は本気でやっているのか。

◇ 質問時間が会派・無会派でちがうのはおかしい。質問時間を残している人は本気でやっているのか。

《テーマ「鹿角の医療について」に関すること》

◇ 国民健康保険税の滞納者に対する資格証明書の発行を安易にしないで、しっかりと対応をしてほしい。

◇ 在宅医療に対する現状を把握して対応してほしい。

◇ 医療も大事だが、予防がもっと大事。医療は広域的に考えていけば良い。

◇ インフラの弱い鹿角は大雨などで孤立してしまうため、医療体制をしっかりと整える必要がある。

◇ 来年4月からの国民健康保険事業の県一本化の変化でどうなるのか。

◇ 市外から嫁いできた人は産科で診てもらえるのか。市内で出産はできないということなのか。

◇ 出産と鹿角の医療、福祉、介護も含めた、鹿角市の地域総合医療計画というものが必要だと思いがいかか。

◇ テレフオン病院24とはどのようなものなのか。もっと認知と広める手段が必要ではないか。

◇ かつの厚生病院は研修病院と言われている。技術の高い医師を連れてきたほうがいいと思う。

◇ プールは健康維持、改善にとってもいいと言われ、今まで私も利用して血糖値が改善したし大館市ではプールが大変人気があると聞くので鹿角市でも再開していただきたい。

◇ 産婦人科が、もしなくなったら市としてどのような対策をしていくのか。出産のため大館まで行くのに間に合うのか。救急車で移動するのか。救急救命士の養成はどうするのか。不安が広がっている。産婦人科がなくなった時のことも今から対策を考えていただきたい。

◇ かつの厚生病院の助産師の年齢が高くなっている。助産師を養成するにも産科がなくなるのであれば助産師のなり手についても状況が変わり、いざ出産となってもスタッフが足りないという事態になりかねない。お産が重な場合、命の危険もあるのではどうか。

◇ かつの厚生病院の助産師の年齢が高くなっている。助産師を養成するにも産科がなくなるのであれば助産師のなり手についても状況が変わり、いざ出産となってもスタッフが足りないという事態になりかねない。お産が重な場合、命の危険もあるのではどうか。

◇ かつの厚生病院の助産師の年齢が高くなっている。助産師を養成するにも産科がなくなるのであれば助産師のなり手についても状況が変わり、いざ出産となってもスタッフが足りないという事態になりかねない。お産が重な場合、命の危険もあるのではどうか。



八幡平市民センター会場

《市政に関すること》

◇国道282号線の降雨

量130ミリを超えた場合の通行止めについて、通行止め時の対応策が決まらないままの実施は困る。迂回路などの点で、世紀越えトンネルより国道282号線を優先してほしい。

◇鹿角市の産業（そば・リンゴなど）の外に向

かっての発信をもっと上手くやってほしい。

◇人口減少が進む中、ボ

ランティア活動などを通して、地域住民同士の助け合いを進めていかなければならない。市民一人一人の意識を変えるチャンスだと思う。市民みんなが、し

っかりと関係を持つて生活していかなければならない。

◇世紀越えトンネルは、

メリットデメリットを考えてほしい。鹿角にとつては他に優先すべき事業があると思う。

◇雨による災害時の避難

所はコモッセではおかしい。高齢者の移動などしっかりと対応してほしい。

◇市日の空き場所が、曜

日によってあるようだが、市日の現状と展望、見込みはあるのか。

◇熊の出没や熊による農

作物被害が多い。被害対策を迅速にできないか。市を挙げての対策を望む。

◇コモッセでの行事やイ

ベントが多いが花輪地区以外からは車がなければ行けない。巡回バスを出せないか。

◇アルパス陸上競技場に

犬の散歩に來ている人達の犬のフンの始末がなっていない。芝生で寝転ぶ子供達も多いので、犬を入れないようにできないか。

◇秋田県ねりんピックが行われたが、その効果をどのように感じているか。

◇大会開催のために小学

生がアルペン競技の練習場所として水晶山スキー場に集中してしま

う。郡市大会に出場するためには花輪スキー場では一度も練習できずに大会を迎えることになる。地元の選手を育てるための練習環境を整えてほしい。

◇駅前開発について、20

年前から全然進んでいない。花輪ばやしが世界遺産登録になり現在の駅前では全然足りないと思う。ぜひ進めてもらいたい。

◇



十和田市民センター会場

■アンケート結果■

参加者 60名

うち回答者 50名

(以下、原文のとおり)

《議会報告会に

ついで感想》

・各常任委員会毎の「議会報告会・市民と語る会」を開催してほしいと思う。

・テーマがあつたが、「テーマにこだわらずどうぞ」と言うことであつたので、意見が述べやすく、良かった。

・医療についてがテーマなのに医療の話を進めないのはなぜ。もう少し突っ込んだ議論を聞きたかった。

・報告会出席は、まだ数回ですが、出席数が少ない。もっと私たち市民がたくさん出席できる、行きたいと思える会にしてほしいです。

・今回は多数の参加者がいてよかった。

・初めての参加ですが、少数意見でも、疑問に思っていることを出せていたと思う。思っていたより活発でした。

・参加する市民も勉強が必要。(くどい質問が多い)

・今回産婦人科のことに ついて、もう少し議論があると思いましたが、結局、子育て世代で参加している人も少なく、ちよつとがっかりでした。現状としてどのくらい

の切迫感があるのか市民の危機意識は低いのではないでしょう

か。この問題については、もっと子育て世代を含め現状の報告と議論をするべきだと思います。これでは産婦人科は不要であるとし

か受け取れません。個人によりますが、特定の

の方の発言が多く、広く意見を聞けなかつたように思います。

・岩手医大だけでなく、大館市立病院との連携も強化すべきだと思います。(インフラだけでなく病院同士の)

・「鹿角の医療について」は語りつくされなく、まだまだ話し合いが必要

と思う。(次のページに続く)

議会報告会

～市民と語る会～

(前のページから続く)

《議会報告会に

ついての感想》

・ 今回の意見交換を聞いて、本当に市民のことを考えて、医療のことを、また、少子化のことを思っているのか。一市民として、今のままだと秋田県や特に鹿角市そのものが、なくなるのではと不安に思った。

・ 初めて参加しました。産婦人科医療について不安があつたからです。発言もさせてもらいましたが、私たちの思いが伝わったのか、言いたいことを分かってもらえたのか、不安のままだま終わってしまったように思います。産婦人科が存続するかしないかだけでなく、存続できなかつた場合、どのような対策を考えているのか聞きたかつたし、



尾去沢市民センター会場

吸い上げてほしかったです。温度差を感じました。

・ 感情的な発言がありびっくりしました。もっと楽しく意見交換ができれば参加者も増加するのでは。

・ 主テーマの医療問題、たくさん出て深刻さが伝わってきて良かった。市当局の中に医師獲得の専門の係を設けて頑張ってもらうのはどうか。

・ 意見に対する答弁が曖昧。もっと多くの意見を聞くことができる進め方を工夫してほしい。

《市議会に対する

意見・要望》

・ 農産物の鹿角ブランド(米、桃、豚肉、リンゴ)等、都会では広がっています。しかし、地元の方々に対してのアピール不足で認知不足だと実感します。地元の方々がもっと胸を張れる方向の広告が必要だと思います。鹿角は宝の山だらけで良いところだと思えます。

・ 引き続き、報告会の参加者を増やす努力をしてください。

・ 医療の安心安全をつくり、老人だけでなく若い人たちが、特にお産も市内でできるようにしてもらいたい。

・ 尾去沢地区の商店が少ない。高齢化に伴い、車を利用しての販売はできないか。

・ 日中に子どもも参加可能で市民と語る会をするのは、いかがでしょうか。(小さい子がいると来れないと思うので)

・ 一度なくしたものは二度と戻ってこないのが現実だと思っています。説明をもっとしたほうがよいと思いました。

・ 市民のための議会になれ。

・ 若い人が政治に興味がないと出たが、若い人へのアピールがないのも影響しているかもしれない。紙媒体だけでなくSNSで発信する等、若い人の目に触れるものが必要だと思います。

・ 行政の施設の老朽化をなんとかしてほしい。行政へのチェック体制を強化していただきたい。

・ 議員に対する要望より、市等への意見が多く、対応ができていない。2、3の自治会をまとめて、数多くやることで、参加する人も多くなり、いい結果になるのでは。

・ 視察がもっと生かされるように具体的に行動してほしい。

平成29年度 鹿角市議会「議会報告会～市民と語る会～」開催実績

○1日目：平成29年11月6日(月) 午後6時から

- ・ 第1班：八幡平市民センター 来場者 11名(男性9名、女性2名)
- ・ 第2班：尾去沢市民センター 来場者 11名(男性9名、女性2名)

○2日目：平成29年11月7日(火) 午後6時から

- ・ 第1班：花輪市民センター 来場者 16名(男性13名、女性3名)
- ・ 第2班：十和田市民センター 来場者 22名(男性19名、女性3名)

来場者総計 60名(男性50名、女性10名)

委員会派遣調査報告

議会運営委員会
(栃木県那須塩原市・
福島県会津若松市)

○那須塩原市・会津若松市では、それぞれ「議会改革」について調査をしました。

那須塩原市は平成17年に1市2町が合併し、議会活性化検討委員会を設置し、議会運営のルールづくりや議会改革等に取り組んだ成果として、議会基本条例の制定、議会報告会を専門に担う議会報告委員会、政治倫理条例における市議会議員の資産公開などが挙げられ、現在は通年議会について調査・研究をしております。

議会改革先進地や大学から講師を招いて自ら勉強会を開催したり、議員としての資質向上に努めておられました。また、市民に親しまれる議会を目指す「議場コンサート」を年2回実施しております。会津若松市では、市民との意見交換をメインに据え、決算から予

算へと続く審議の間に常に市民との意見交換会やパブリックコメントを入れながら、広報広聴委員会において整理・集約した市民の意見に基づき、課題を設定し、それを議会の政策形成サイクルに結びつけております。

常任委員会単位で構成する政策討論会で、それら課題を基にテーマを設定しながら年間100回程度の議員間討議を行い、それを本会議や常任委員会での審議に結びつけ、執行機関へ政策提言を行い、さらにその結果を市民との意見交換会へ報告していくというスタイルは、まさに市民を中心とした議会運営であり、市民からの議会や議員に対する期待も大きいと感じているとのことでした。

(参加議員)

児玉政明、中山一男、田村富男、倉岡 誠、成田哲男、戸田芳孝、宮野和秀、兔澤祐一

秋田県北部市議会連絡協議会

平成29年10月26日に秋田県北部市議会連絡協議会総会・研修会が、本市を会場に開催されました。

本協議会は、県北部4市(鹿角市・能代市・大館市・北秋田市)における広域的な課題について協議する場として、平成8年に発足したものであります。

総会では、要望活動を行う議案について協議し、鹿角市議会からは、4市議会共同提出として「八戸・能代間、北東北横断道路の整備促進について」、「道路整備予算の確保について」を提出したほか、北秋田市議会とともに「医師確保と地域への均衡ある医師配置について」を共同提出し、全5議案が満場一致で承認されました。

なお、承認された議案は、平成29年11月22日に、4市議会議長・副議長が、秋田県選出

国会議員へ要望いたしております。

また、研修会では、世界遺産登録を目指している「国特別史跡大湯環状列石」を見学していただき、縄文時代の遺跡の理解を深めていただいたほか、NPO法人「かづのclear sky(クラッシュ)」理事長の木村芳兼氏を講師として招き、「関わり合うことで生まれる地域の余白」と題し鹿角市における移住政策や活動などについてご講演をいただきました。



世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会

平成29年11月2日について」と題し、世紀本市と田子町の両議会議員で構成される「世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会」の全体会が本市において開催されました。

本協議会は、トンネルの両端となる鹿角市と田子町において、トンネル建設の機運を醸成するため、全体会を毎年お互いの自治体で交互に実施しており、今回は本市での実施となりました。

全体会では、昨年度の活動実績報告と、今年度の活動計画について協議が行われ、引き続きトンネル建設に向けて関係機関や国会議員に対する要望活動を行うことや、住民への周知を行うことなどを決定し、要望活動等を実施しております。

また、秋田県鹿角地域振興局の酒井不二彦建設部長から「秋田県道路行政の現状と国道104号の取り組みに

講話の中では、国道104号に関する県の考え方について、「交通量が少ないという課題はあるが、地域間交流の拡大につながる」とが期待されるため、整備に向けた具体的な課題の整理を行う」との知事の発言や、現在策定を進めている県の「第3次ふるさと秋田元氣創造プラン」において、国道104号線の県境部の整備が記載される見込みとなることが紹介されました。



【第7回定例会において審議した議案の審議結果】

件名	審議結果
[市長提出]	
◇専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)	報告承認
◇専決処分の承認を求めることについて(平成29年度鹿角市一般会計補正予算(第8号))	原案可決
◇訴訟上の和解について	原案可決
◇平成29年度鹿角市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
◇議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
◇特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
◇一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
◇字の区域の変更について	原案可決
◇指定管理者の指定について(鹿角市市民センター)	原案可決
◇指定管理者の指定について(鹿角市立図書館)	原案可決
◇指定管理者の指定について(鹿角市記念スポーツセンター、城山野球場、毛馬内野球場)	原案可決
◇指定管理者の指定について(鹿角市高齢者センター)	原案可決
◇指定管理者の指定について(鹿角市定期市場)	原案可決
◇指定管理者の指定について(鹿角市交流プラザ)	原案可決
◇指定管理者の指定について(鹿角市草木地域活動センター)	原案可決
◇指定管理者の指定について(鹿角市かづの牛生産育成施設)	原案可決
◇指定管理者の指定について(鹿角市肉用牛担い手育成施設)	原案可決
◇市道路線の認定について	原案可決
◇市道路線の廃止について	原案可決
◇職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
◇鹿角市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
◇鹿角市大湯温泉保養センター条例の一部改正について	原案可決
◇鹿角市企業立地促進条例の一部改正について	原案可決
◇鹿角市工場立地法準則条例の一部改正について	原案可決
◇平成29年度鹿角市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
◇平成29年度鹿角市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
◇平成29年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
◇平成29年度鹿角市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
◇平成29年度鹿角市上水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
◇鹿角市介護保険条例の一部改正について	原案可決
◇平成28年度鹿角市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成28年度鹿角市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成28年度鹿角市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成28年度鹿角市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成28年度鹿角市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成28年度鹿角市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成28年度鹿角市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇平成28年度鹿角市大湯財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定
[議員提出]	
◇核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出について	原案可決
◇介護保険制度の改善、介護報酬の引き上げ、介護従事者の処遇改善と確保を求める意見書の提出について	原案可決
◇国民健康保険都道府県単位化に係る意見書の提出について	原案可決
◇米の生産費を償う価格下支え制度を求める意見書の提出について	原案可決
◇種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書の提出について	原案可決
◇道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書の提出について	原案可決

鹿角市の市議会だよりって「何か変わった?」「見やすくなった?」「内容が面白くなつた?」など、読者の皆様からこのようなお言葉をいただきました。

議会広報委員は知恵を絞り、近隣議会の視察等をしてしながら、今まで以上に市議会だよりがたくさんの読者に喜んでいただけるように、紙面の許す限り議会の内容・読者の声・傍聴者のお声を鹿角市の方々へ伝えてまいりたいと思っております。

皆様の声をお待ちしております。

(浅石 昌敏)

編集後記